

# 1 安全・安心なまちづくり

都立国際高校（地域避難所）に防災倉庫を新設します

予算額：5,602千円

## 目的・概要

地域避難所である都立国際高校の学校施設の一部を借りた防災倉庫の使用期限到来に伴い、同校敷地内に新たに防災倉庫を設置します。

## 内容

地域避難所である都立国際高校の防災倉庫は、学校施設の一部を倉庫として借りて使用していますが、平成31年度に使用期限が到来することから、地域避難所としての機能を維持し、区民が安全かつ安心して避難することができるように、同校の敷地内に新たに防災倉庫を設置します。



### 担当所管

■ 危機管理室 防災課 直通電話 03-5723-8488  
内線番号 ( 6223 )

# 1 安全・安心なまちづくり

民間施設に対し、防災資機材などの整備支援を行います  
(区と協定を締結した補完避難所や一時滞在施設)

予算額：1,086千円

## 目的・概要

- (1) 「補完避難所」として災害時の施設使用に関する協定を締結した民間施設に対し、その機能を充実させるための防災資機材を配備します。
- (2) 「一時滞在施設」として施設を使用する協定を締結している民間施設に対し、帰宅困難者用の備蓄品の購入費用(一部)を助成します。

## 内容

- (1) 目黒区では、避難者が増加し区立小中学校等の地域避難所では受け入れきれない場合や、地域避難所での生活が困難であると認める避難者を受入れる場合に利用する「補完避難所」の拡充を目指し、区内の民間事業者等の施設を災害時の「補完避難所」として利用するための協定締結を進めています。新たに災害時に「補完避難所」として使用する協定を締結した民間施設に対し、「補完避難所」として被災者が安全に避難生活を送るために必要な資機材を配備します。
- (2) 目黒区では、東京都帰宅困難者対策条例に基づき、区内の民間施設と施設の使用に関する協定を締結し、一時滞在施設の確保を進めています。  
区と協定を締結した民間施設が帰宅困難者用の備蓄品(食料・毛布など)を購入する場合の費用については、東京都でその5/6(上限金額7,500円/人)を補助する事業を実施しています。これに伴い、目黒区では該当費用の1/6(上限金額1,500円/人)を補助し、民間施設の負担を軽減することで、区内の一時滞在施設の拡充及び機能の充実を図るものです。



### 担当所管

■ 危機管理室 防災課 直通電話 03-5723-8488  
内線番号 ( 6220 )

# 1 安全・安心なまちづくり

災害時要配慮者への支援を充実します

予算額：10,051千円

## 目的・概要

災害に備えるために、要配慮者支援を充実します。

避難行動要支援者の登録者名簿を整備し、個別支援プランの作成を進めます。また、災害時に要配慮者が、避難所でも在宅でも安心して避難生活を送ることができるよう必要な資機材を整備します。

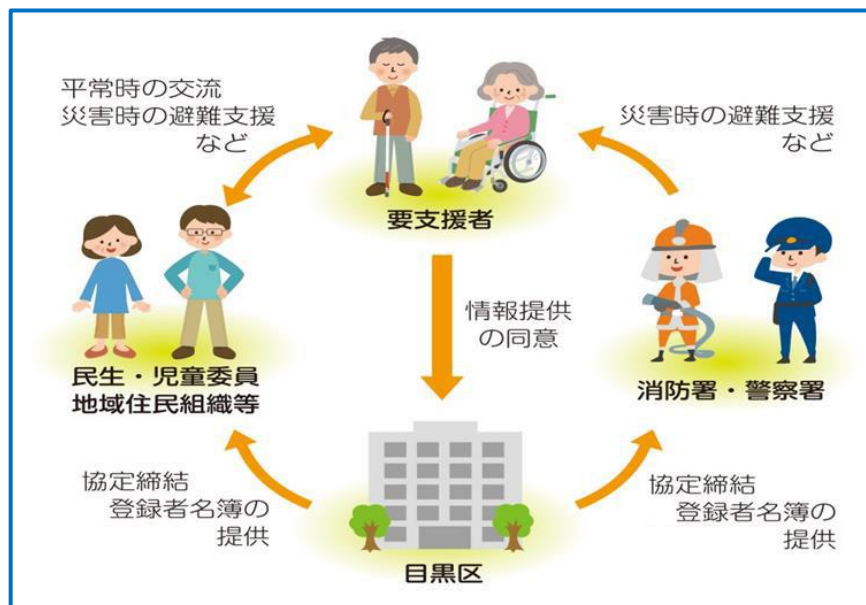
## 内容

### 1 避難支援対策の推進（予算額：1,991千円）

- 避難行動要支援者の登録者名簿の活用
- 登録者名簿保管のための収納ボックス配布
- 防災講演会の開催

災害に備えるためには、平常時から地域全体で避難支援対策に取り組んでいくことが重要です。区と協定を締結し、避難行動要支援者名簿の登録者名簿を保管・活用していただく地域住民組織（町会・自治会）を増やすとともに、要配慮者の方に登録の同意を勧奨するなど、避難支援対策を推進します。

11月に防災講演会を開催し、区民の意識啓発に努めます。



## 2 個別支援プラン作成の推進（予算額：2,944 千円）

### ○避難行動要支援者の個別支援プランの作成

災害の発生に備え、避難行動要支援者の方については、身体の状態や緊急連絡先、避難支援者の確保などを記載した個別支援プランを作成し、日頃の見守りや防災訓練などを通じた、平常時から顔の見える関係づくりが必要です。

医療依存度が高い方や重度の要介護状態の方など、基本的に個別支援プランの必要性が高い方から優先して、お一人おひとりに作成し、避難支援策を推進します。



安否確認・避難支援訓練の様子

## 3 避難所・在宅避難支援対策の推進（予算額：5,116 千円）

### ○安否確認用トランシーバーの購入（4年計画2年目）

災害時要配慮者が在宅または避難所において、安心して生活を送ることができるよう支援策に取組みます。地域避難所にヘルメットなどの資機材を配備していますが、安否確認チームが避難所との間で連絡を取るためのトランシーバーなどを配備します。



地域避難所に配備するトランシーバー



### 担当所管

■ 健康福祉部 健康福祉計画課 要配慮者支援係 直通電話 03-5722-9689  
内線番号（2805）

# 1 安全・安心なまちづくり

災害時の医療救護活動体制の充実を図ります

予算額：12,650千円

## 目的・概要

災害発生時における区民の生命を守るため、発災直後の医療救護活動をより迅速に行えるよう実効性のある体制を目指して整備します。

## 内容

災害発生後 72 時間までの超急性期を目途に、区内病院等の敷地内又は近接地に緊急医療救護所を設置し、トリアージ（多数の負傷者を緊急度や程度に応じて分類し、治療の優先順位や搬送を決定すること）を行い、主に軽傷者の対応を行います。

平成31年度は緊急医療救護所2か所の資機材を整備するとともに、今後は資機材を活用した訓練の実施にも取り組んでいきます。

緊急医療救護所で使用する医薬品については、ランニングストックで備蓄して5年が経過していることから、医薬品の見直しを行うとともに充実を図ります。



## 担当所管

■ 健康推進部 健康推進課 健康づくり係 直通電話 03-5722-9586  
内線番号（2831）

# 1 安全・安心なまちづくり

## 特殊詐欺から区民を守ります

(都内唯一！犯人からの電話に出なければ騙されません！)

予算額：2,660千円

### 目的・概要

都内では依然として特殊詐欺が猛威を振るっています。被害を防止するには「犯人からの電話に出ないための対策」が有効。家庭用電話に自動着信拒否装置や自動通話録音機を取り付けることにより、特殊詐欺や電話を使用した犯罪を未然に防止します。

### 内容

#### ① 自動着信拒否装置 (100台：2,044千円)

迷惑電話として把握されている電話番号及び警察が特殊詐欺犯人に利用されていると認知した電話番号からの着信を拒否する機器（トビラフォン）を、区内居住の希望世帯に無償で貸与するもの（※）で、都内自治体では目黒区だけの施策です。

※トビラフォンの利用にはナンバーディスプレイ契約が別途必要。

#### ② 自動通話録音機 (100台：616千円)

東京都の自動通話録音機設置促進補助制度を活用し、区内の65歳以上の高齢者居住世帯に無償で貸与するものです。

※ 東京都の補助 1台あたり4,000円を上限として、購入経費の1/2



トビラフォン



自動通話録音機

### 担当所管

■ 危機管理室 生活安全課 生活安全係 直通電話 03-5722-9667  
内線番号 (2161)

# 1 安全・安心なまちづくり

水害ハザードマップを作成し全戸配布します

予算額：5,897千円

## 目的・概要

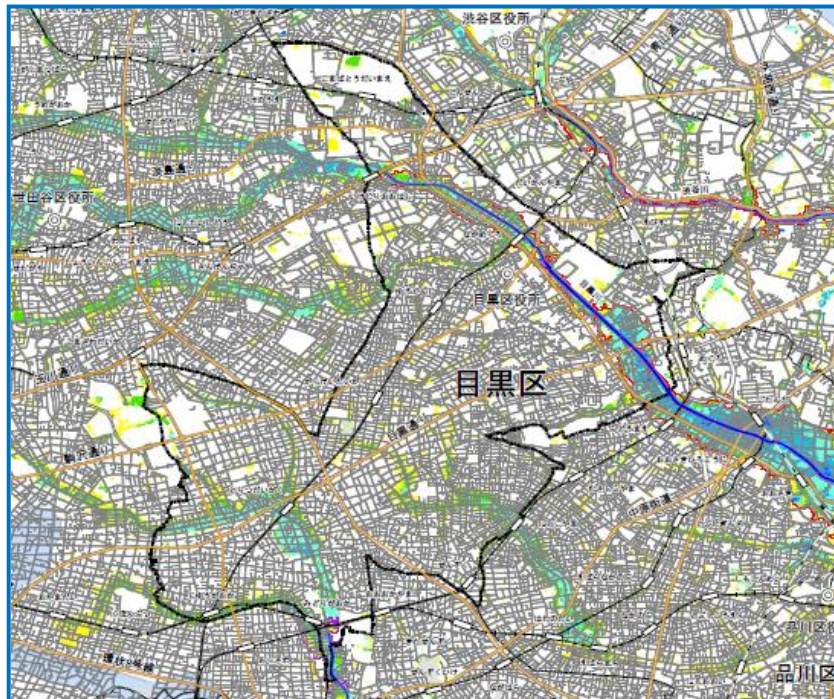
新たな浸水予想に基づき、ハザードマップを作成し全戸配布を行います。

## 内容

東京都では、平成30年12月に城南地区河川流域について、想定し得る最大規模の降雨による洪水・内水はん濫に係る浸水予想区域図を改定しました。

この改定を受けて、新たな浸水予想区域図に基づき水害ハザードマップを作成し、全戸配布を行うことにより区民に周知します。

※日本語版については平成30年度中に作成し、外国語版について平成31年度に作成します。



浸水予想区域図

## 担当所管

■ 危機管理室 防災課 直通電話 03-5723-8488  
内線番号 ( 6223 )

# 1 安全・安心なまちづくり

水防対策に係る機器の更新を行います

予算額：5,908千円

## 目的・概要

近年、多発している都市型水害等より区民を守るため、水防対策に係る機器の更新を行います。

## 内容

### ◎水防対策（資器材等整備）

水防対策を適正に行なうため、水位警報装置に係る機器の更新・改修、水害対策に係る普及・啓発対応、土のう保管箱の増設、水防に必要なポンプの交換を行います。



水位警報スピーカー



緊急用土のう保管箱

## 担当所管

■ 都市整備部 土木工事課 工務係 直通電話 03-5722-9775  
内線番号（3161）



# 1 安全・安心なまちづくり

目黒川の桜開花期間中における安全対策を進めていきます

予算額：49,232千円

## 目的・概要

目黒川の桜開花期間中における沿川道路及び中目黒駅前交差点等の安全対策を進めていきます。

## 内容

### 1 警備業務（予算額 43,655千円）

来訪者等で輻輳（ふくそう）する目黒川沿川道路及び中目黒駅前交差点等の安全対策を図るため、雑踏警備を行います。

### 2 目黒川沿川道路等の管理（予算額 4,428千円）

まちの美観と公衆衛生保持のため、沿川道路等のゴミ回収等を行います。

### 3 目黒川緑地帯のロープ柵設置等（予算額 1,149千円）

酒宴や植栽の踏み荒らしを防止するため、ロープ柵を設置し植栽の保護を行います。



中目黒駅前での警備の様子

## 担当所管

■ 都市整備部 土木工事課 工務係 直通電話 03-5722-9775  
内線番号（3161）

■ 都市整備部 みどりと公園課 公園管理係 直通電話 03-5722-9741  
内線番号（3231）

# 1 安全・安心なまちづくり

「みんなでももる」空家等対策を実施します

予算額：2,888千円

## 目的・概要

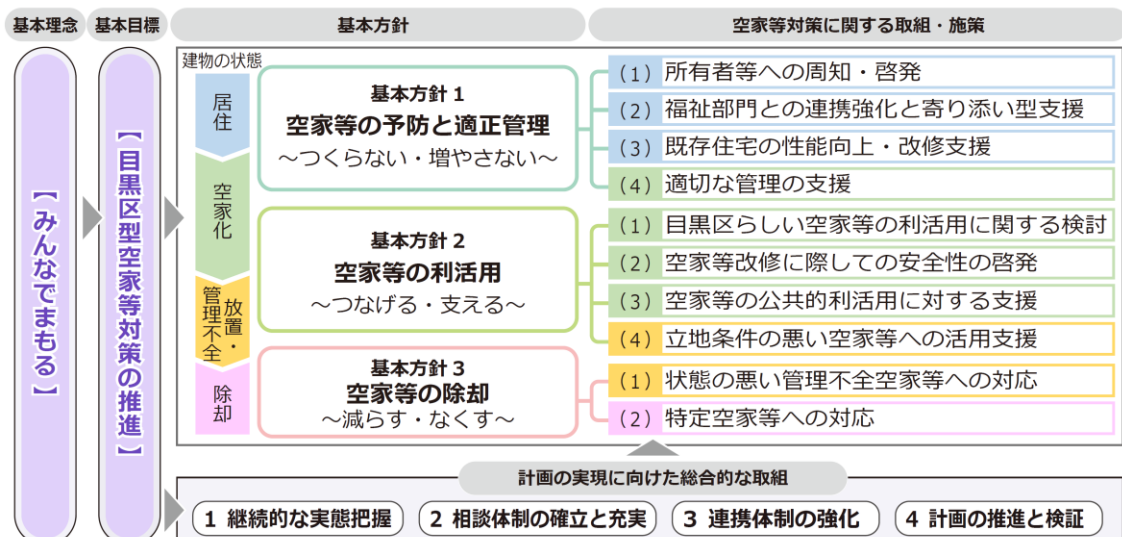
目黒区では、空家等対策について基本的な取組姿勢を示し、多様な視点をもって総合的かつ計画的に実施するため、「みんなでももる」という基本理念のもと、目黒区空家等対策計画を策定しています。

「みんなでももる」とは、空家等を地域の大切な資産と捉え、所有者や管理者、そして区、更に区民、事業者、専門家など、みんなが各々の責任や役割を果たしながら、空家等の効果的な利活用を含めて、主体的に空家等に向き合い、目黒区の魅力を更に高めていくことを目指すものです。

住宅が多く建ち並ぶ目黒区は、都市型の空家問題に直面しています。問題解決には、所有者等や区民に対し、個別の事情に寄り添うことで信頼関係を築き、状況に応じた改善策を図ることが必要です。更に福祉所管と連携し、空家等の発生予防にも取り組んでまいります。平成31年度は、目黒区空家等対策計画に基づき、施策を実行してまいります。

## 内容

目黒区空家等対策計画は、基本理念、基本目標のもと、空家状態の時間経過に沿って、基本方針1から3を設定し、施策を展開し、問題解決に取り組みます。



平成31年度は、空家巡回調査、啓発パンフレット等作成、空家管理費助成等を行います。

## 担当所管

■ 都市整備部 都市整備課 空家対策調整係 直通電話 03-5722-8692  
内線番号 (2929)

# 1 安全・安心なまちづくり

ブロック塀等の除却を促進します

予算額：47,342千円

## 目的・概要

安全性が確認できない道路沿いのコンクリートブロック塀等に対し、除却費用の一部を助成します。

区内の道路に面する塀について、どこにどのようなものがあるかを調査します。

## 内容

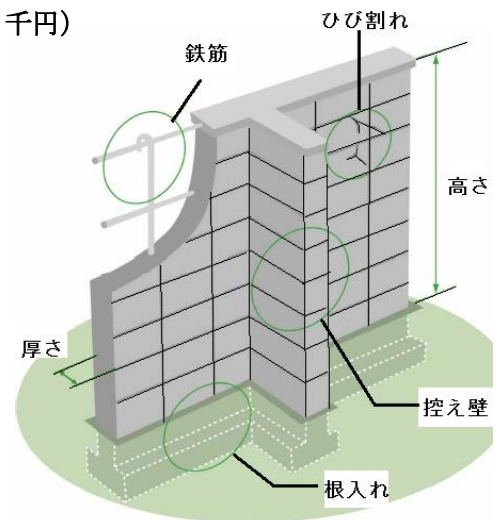
### 1 コンクリートブロック塀等除却支援（予算額 12,108千円）

#### 【助成内容】

- ・助成率 50%
- ・助成金額上限 20 万円  
(塀の長さ 1mあたりの助成金額上限 9,000 円)
- ・助成期間平成 33 年度末まで

#### 【助成要件】

- ・道路に面しているもの
- ・高さ 80cmを超えるもの
- ・安全性が確認できないもの



### 2 区内沿道の塀の基礎調査（予算額 35,234千円）

区内の道路沿いについて、どこにどのような塀があるかを調査し、今後の指導・啓発活動を行うための基礎資料を作成します。

## 担当所管

■ 都市整備部 建築課 耐震化促進係 直通電話 03-5722-9490  
内線番号 ( 3387 )

# 1 安全・安心なまちづくり

## 中根一丁目駐輪場脇の通路を改修します

予算額：25,122千円

### 目的・概要

駐輪場利用者と駐輪場脇の通路を通る歩行者等の安全を確保するため、通路の改修を行います。

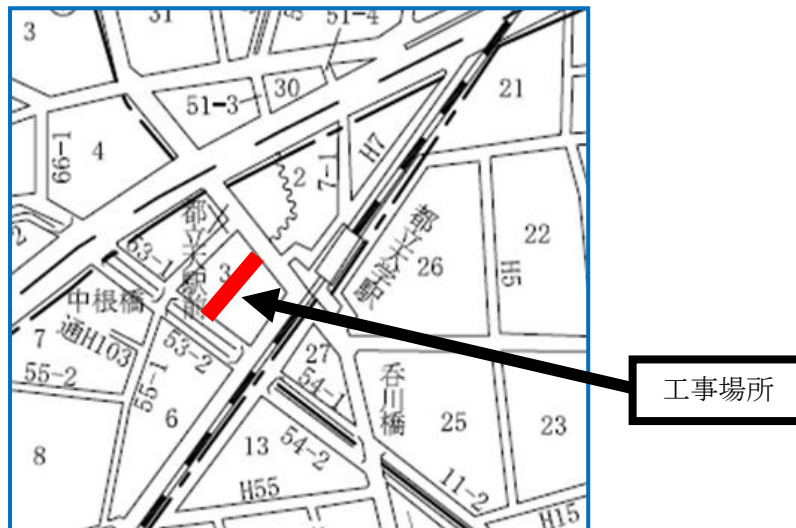
### 内容

#### 1 内容

中根一丁目駐輪場脇の通路では、駐輪場利用者と利用者以外の歩行者等が通行しています。また、通路の舗装は、経年変化により劣化が著しい状態となっています。駐輪場と通路を明確に区分するとともに歩行者等が安全通行できるよう、カラー舗装により通路を改修します。

#### 2 工事場所

中根一丁目駐輪場脇の通路



#### 担当所管

■ 都市整備部 道路管理課 自転車対策係 直通電話 03-5722-9444  
内線番号 ( 3132 )